

音楽療法特論

[講義] 第1・2学年 前期 選択 2単位

《担当者名》近藤里美 skondo@hoku-iryo-u.ac.jp
浅野雅子

【概要】

本講義では、音楽療法に関する基礎的知識と研究を学び、リハビリテーションへ応用するための方法論を理解する。

【学修目標】

一般目標：リハビリテーションに活用する音楽療法の知識を習得する。

行動目標：

1. 音楽療法の理論とその背景にある考えを説明できる。
2. 音楽療法の基礎的知識を習得し、リハビリテーションに活用する音楽療法研究について説明・評価できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1～7	音楽療法の理解	音楽療法の歴史や音楽療法の背景となる様々な考えを理解する。	近藤里美 浅野雅子
8～15	音楽療法の研究	様々なリハビリテーション領域での音楽療法研究について理解し、評価する。	近藤里美 浅野雅子

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【評価方法】

プレゼンテーション50%、討議への取り組み50%

【教科書】

特に指定しない（適宜配布資料を配布）。

【参考書】

Malloch, S. (2010). Communicative Musicality: Exploring the Basis of Human Companionship. Oxford University Press.

Wheeler, B. (2016). Music Therapy Research. Barcelona Publishers.

【学修の準備】

関連の文献等を検索・読解して、理解が深められるように整理・統合すること（事前・事後学習各80分）

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

リハビリテーション領域における高度な知識および技術を修得し、対象者が抱える諸問題に対して、科学的根拠に基づいた質の高い臨床実践を展開できる問題解決能力を身につけているというリハビリテーション科学専攻博士前期（修士）課程のディプロマ・ポリシーに適合している。

【実務経験】

近藤里美（音楽療法士） 浅野雅子（音楽療法士）

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関や介護福祉施設などでの実務経験を活かし、担当の講義を行う。